

第 5 号議案

交通空白地における実証運行の実施について（案）

1. 趣旨

丘陵地域や鉄道駅・バス停まで距離のある地域などにおいて、定時定路線型の乗合タクシーの実証運行を行い、需要を把握し、本市の地域公共交通について検討を進める。

青谷地域については、地元の声を受け、既存の青谷方面乗合タクシーのルート拡充及び車両サイズを変更（セダン→ジャンボタクシー）し、実証運行を行う。

2. 事業概要

実施地域	㊦久世地域、㊧古川・久津川地域、㊨青谷地域
交通サービス	乗合タクシー
運行形態	定時定路線
運行頻度	週 2 日、9 時～17 時
運行期間	令和 8 年 11 月～令和 9 年 1 月
運行ルート	住宅地が密集するエリアから商業施設や市役所までを結ぶ

※国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金「令和 8 年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（「交通空白」解消タイプ）」を活用予定

3. 実施理由

㊦久世地域

- ・地域連携サポートプランで移動手段の確保が課題とされた地域。
- ・丘陵地に開発された住宅地であり坂道が多く、高齢化の進行とともにバス路線復活や新たな移動手段導入等の声がよく聞かれるようになってきている。
- ・市社会福祉協議会の協力により、老人福祉センター送迎バスの空席への無料乗車を実施していただいていたが、令和 8 年度から送迎バスが 1 台（令和 7 年度までは 2 台）での運行となり、空席の無料利用ができなくなった。
- ・当該地域の南部を運行する城陽さんさんバス「鴻ノ巣山運動公園近鉄寺田線」において、令和 8 年 4 月付けで 1 時間 2 便から 1 時間 1 便に運行内容の見直しを行った。

㊧古川・久津川地域

- ・地域連携サポートプランで移動手段の確保が課題とされた地域。
- ・路線バスのバス停まで 300m 以上離れている住居が多く存在しており、古川地域においては鉄道駅から 1km 以上離れている住居も多い状況。

- ・地元の京都きづ川病院のご厚意により病院送迎バスへの無料乗車「高齢者外出支援事業」を実施しているが、利用対象者を 65 歳以上の古川校区住民に限定しており、乗降場所にも制限があるなど利用しづらいとの声が聞かれる。
- ・市社会福祉協議会の協力により、老人福祉センター送迎バスの空席への無料乗車を実施していただいていたが、令和 8 年度から送迎バスが 1 台（令和 7 年度までは 2 台）での運行となり、空席の無料利用ができなくなった。

㊦青谷地域

- ・現在、青谷方面乗合タクシーを運行している。
- ・青谷方面乗合タクシーはセダン型車両で、週 2 回、1 日 6 便のみの運行であり、便数の増加や大きな車両での運行等の要望が多くある状態であり、利用に際して不便であると感じられている市民が多くいる。
- ・地域の南部に京都京阪バス(株)の一般路線バス「新田辺宇治田原線」が運行しているものの、運転者不足への対応により、昼間時間帯は 1 時間に 1 本程度の運行となっている。

4. 今後のスケジュール（予定）

城陽市 地域公共交通計画策定・実証運行 スケジュール（予定）

